

2015年度同志社大学大学院司法研究科
前期日程入学試験問題解説
小論文

第一問（配点：40点）

- ・本問は、近代における望遠鏡という発明と功利主義の、思想的な観点からみた共通点を述べさせる問題であり、伝統的哲学との違いを加えて問うたのは、これにより共通点を浮かび上がらせる解答が得やすくなるようにという趣旨である。
文章の読解能力と、文章の中から望遠鏡と功利主義の両者を対照させる適切な語、これらと伝統的哲学との違いを表す適切な語を選択しつつ、問いにふさわしい答えを作成する能力を試している。
- ・採点に際しては、以下のことが理解されているかを中心に評価した
 - ・望遠鏡の発明によって、人間の知覚的性能が際限なく増大していくという経験を得た人類は、それ以降、人間を進化する機械として見る視点を得たが、功利主義もまた人間を快と苦痛を感じる機械と見た点に共通点がある。
 - ・以上のように近代的思考は人間を機械的、即物的にみるが、伝統的哲学はそうではなく、人間の精神的な完成をめざすものであったこと。
 - ・文章表現能力

解答例

望遠鏡の発明は、人間の視力の際限のない増大が可能であることを人類が知ったことによって、その後の進化にむけた人体改造の端緒となった。技術によって、人間の能力を開発し続けることが目指されるようになり、それは人間を運動する機械としてみる人間観をもたらした。このような人間観は、人間における善悪を、動物的に感受される快と苦痛によって機能的（機械的・自然主義的）に説明する功利主義と共通している。これは、定まった究極目的への到達を幸福・最高善とする伝統的哲学との決別を意味していた。(238字)

第2問（配点：60点）

- ・本問は、与えられた文章の内容を理解した上で、この文章中での近代的思考に対する自らの考えを自由に展開する思考能力と文章能力を問うものである。
- ・採点に際しては、近代的思考に批判的なものであってもそうでないものであっても同様に、自らの考えを伝える文章表現能力、叙述の論理的展開力を中心に評価した。
- ・解答例は「自由な」論述を求めているので特に用意しなかった。進化や（機械的人間観による）平等論はこれまでよいものであると考えていたが、この文章からはそれにより失われた倫理観が存在したことに気づき、現代においてその失われた倫理を考えることの意味を問う論述、あるいは近代の進歩主義と環境問題との関連を指摘する論述、逆に伝統的哲学のエリート主義批判など、多様な内容がある。